

第5回地区庶務担当理事連絡協議会

(平成30年9月26日開催分)

△報告ならびに協議事項

1. 最近の中央情勢について

7月下旬から9月中旬にかけての社会・医療保険状況について、19年薬価改定は「半年分の改定」が妥当との見解を厚労省の樽見英樹保険局長が示したこと、「医師の働き方改革に関する検討会」における応召義務の解釈の明確化に向けた議論の開始、中医協の「医療機関等における消費税負担に関する分科会」において、消費税10%への引き上げを見据えた診療報酬での補填の在り方における具体的議論の開始についての話題を中心に説明した。

2. 京都市におけるBCG予防接種の状況について

京都市BCG予防接種個別接種の状況について、本年度は殆どの地区で個別接種者数の割合が7割以上の状況であり、来年度からは、全面的に個別接種へ移行し、集団接種は廃止する方向であることを報告。また、西京・下京区の個別接種率が少し低いため、接種協力医療機関を希望する際には、「京都市BCG予防接種研修会」を受講した上で、個別接種の全面実施に向けた協力を求めた。

3. 医療安全講演会の開催について

日 時 10月20日(土) 午後2時～4時30分

場 所 京都府医師会館 3階大会議室

「医療事故・医事紛争の動向」をテーマとする医療安全講演会が行われることを紹介し、多数の参加を呼び掛けた。

4. 第44回京都医学会について

9月30日(日)に開催される「第44回京都医学会」における特別講演・シンポジウムの内容を紹介し、多数の参加を募った。

5. 学術講演会の今後の予定について

10月に予定している府医学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

6. 麻薬免許の一斉更新について

麻薬免許の更新申請(平成28・29年有効の免許保持者)と受払数量届の提出が10月1日(月)から12日(金)まで府医事務局にて行われることを紹介し、必ず期限までに提出していただくよう依頼した。特に、免許が失効した場合、麻薬の取扱いはもとより、在庫の所有

についても麻薬及び向精神薬取締法違反として厳重に罰せられることを説明し、申請忘れには十分留意するよう呼びかけた。また、更新手続や麻薬の在庫の有無にかかわらず、数量届の提出は必須であるため、会員への周知徹底を求めた。(京都医報平成 30 年 9 月 15 日号(No. 2133)付録参照)

7. 後発品等の使用に関するアンケートについて

国は後発医薬品の使用目標を 80%としている中、京都では平成 30 年 2 月時点で 69.5%と全国 43 位の状況であり、本年 7 月付にて、後発医薬品の普及が進んでいない地域として指定されていることを報告。京都府は実態調査の為、医療機関への後発品等の使用に関するアンケートを実施するとし、理解と周知を求めた。

8. その他

◇京都府医師会子育てサポートセンター

谷口府医理事より、府医子育てサポートセンターについて紹介。現在、府内の医療機関に勤務している医師の 1 歳から就学前までの子どもの一次預かりや迎いの代行、出産・育児に

関する相談対応を行っているとして、会員への周知を依頼した。(京都医報平成 30 年 7 月 1 日号(No. 2128)本文参照)

◇第 30 回日本医学会総会 2019 中部

日 時 2019 年 4 月 27 日 (土) ~ 4 月 29 日 (月・祝) : 学術集会

場 所 名古屋国際会議場、名古屋学院大学白鳥学舎、ウインクあいち : 学術集会

テーマ 「医学と医療の深化と広がり ~健康長寿社会の実現をめざして~」

名古屋大学名誉教授 齋藤 英彦 氏

禹府医理事より、上記のとおり紹介し、事前登録を呼びかけた。